みつぐ苑だより

新年のご挨拶 ～新しい年を迎えて～

施設長　津野田　誠

新年のご挨拶を申し上げます。
新年を迎え、新たな希望を掲げ、その目標に向かって参りたいと思います。
今年は、四月に介護報酬の改定があり、ご利用者の皆様には、不安や混乱がないように全職員が一丸となって、望む所存でございます。
今年もそれぞれの事業所ごとに、さらにサービスの質の向上を図り、地域の皆様に信頼されるよう努めてまいります。
本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

みつぐまち診療所
院長　津野田　尚子

新春のご挨拶を申し上げます。
今月一七日で創立十二年を迎えました。四月には介護保険制度改正をひかえ、いち早く皆様に正確な情報をお伝えできるよう家族会開催（三月八日）を予定しております。
制度改正の大きな課題として雇用促進のためのプラス改正と言われ、３%アップとのことですが、その内１．３%が施設サービスとなっており、老健施設においては介護職のキャリアに対するプラス評価もありますが、また削減の部分があり、実際に置き換えてみると大きく謳われている様にはいかないようです。
社会全体が不況の中、プラス評価であることをしっかりと認識し、少しでも介護職への雇用条件改善へ取り組み、ひいてはご利用者様へ、その評価に恥じない「接遇、サービス」の提供ができる人材育成、能力向上にも努めてまいりたいと考えております。
毎回、制度改正の度に事務処理などで皆様にはご迷惑をおかけいたしておりますが、新制度に対応すべく準備を進め整えてまいりたいと運営会議で取り組んでおります。ご利用者様、皆様にはご協力をお願い申し上げます。
様々な課題が山積ではありますが、今年は「接遇の向上と医療サービスの向上」を目標とし、みつぐ苑の理念のもと、お一人お一人のお客様のニーズにお答えすべく、また「出会えて良かった」と思っていただけるような、医療福祉サービスの提供を、職員一同努めてまいりたいと思います。
本年もご指導、ご愛顧の程よろしくお願い申し上げます。最後に、皆様お一人おひとりにとって「希望」に満ちた健やかな一年になりますよう願っております。

共に支え　共に生きる
私たちは地域社会の一員として
ご利用者とご家族のかたわらで尊
厳を守り、自立支援・在宅支援を
誠心誠意行います。

イベント報告

①12/24　クリスマス会
②12/27　もちつき

①

●12月24日みつぐ苑では、施設長扮するサンタクロースの登場でクリスマス会が始まりました。職員による寸劇と、トーンチャイムによるクリスマスソングの披露、劇中ではボランティアの鳥濱様によるトランペット演奏など盛りだくさんの内容で、笑い声も絶えず、思い出に残るクリスマス会になりました。

②

●12月27日（土）には今年を締めくくりの行事として恒例の「もちつき」も行われました。
ご利用者の皆様、近隣にお住まいの方、そして多くのボランティアの方に参加いただき、たくさんのお餅が出来ました。
ご協力ありがとうございました。

「 防災 」について　～平成20年11月苑内研修報告～

ザ 研 修 Vol.6

今回の苑内研修は11月18日（火）に45名が参加、防災について学びました。講師は、防火設備の管理並びに点検を委託している出水防災の馬場様にお願いし、消防法改正や出火の原因となるケースについて詳しく説明がありました。
次に10月、11月に各フロアごとに行われた防火訓練の様子を中で消防署への通報や寝たきりの方をベッドからの搬送方法を含めた避難誘導訓練の様子が報告されました。最後に、防災対策委員会を中心に苑内４箇所の防火設備の説明がありました。これにより防災への知識と緊急時の意識を職員全体で高めていきたいと思いました。

防火訓練　～11月26日(水)実施報告～

みつぐ苑とグループホーム茜合同で中央消防署と出水防災立ち会いのもと夜間想定での防火訓練を行ないました。夜間は昼間より勤務者が少なく、その体制に合わせた訓練を行ないました。ご利用者の命を守るため、それぞれの役割で一所懸命に取り組みましたが、想定していない場面もあり、反省すべき点も多々ありました。また、実際の火を消す訓練も行ないました。最後に消防署の講評をお聞きし、訓練は終了しました。今後も常に防火を意識し、勤務にあたりたいと思いました。

健康教室

健康にイキイキと！　～小塚ほたる会健康教室～

第５回「小塚ほたる会の健康教室」は小塚ふれあいセンターで１５名の参加者の皆様と当苑職員3名で行ないました。５回目ということもあり、顔なじみの方もでき、冗談や笑い声も飛び交う中、自宅でも簡単にできる足腰や手先の運動を中心に行ないました。参加頂いた方のアンケートからは、「楽しく参加できたと」お答えいただき、今後の励みとなりました。次回も楽しく、ためになる健康教室を提供させて頂きたいと思っております。

なおこ先生の クローバー通信 ～診療所ダイアリー～ Vol.6

診療所院長
津野田 尚子

それってホントに認知症ですか？　● 事例紹介：Ｔさん（86才）

86才の女性Ｔさんは、9月に軽い脳梗塞の診断で10日程入院。急に物忘れがひどくなったとのことで受診されました。
診察すると、物忘れや判断力を始め、さまざまな認知機能には異常が全くありません。しかし、脳梗塞の予防に血液を固まりにくくする薬を飲み出したため、内科の先生から「ケガをしたら危ないから普通にしていた家事はしないように。また転ぶと危ないから出かけるときも必ず誰かと行くように。」と内科の先生に言われ、何もしない状態で家で過ごされているとのことでした。（内科の先生の名誉のために付け加えると、決して内科の先生がそのような指導はしていないと思うんですが･･･。）
ご本人は風邪も引いたことがない健康自慢の方でした。急に脳梗塞と言われ、薬を飲み、包丁を持つのも禁じられた状態の自分に大きな自信を失っておられました。
そこで、ご本人のお気持ちをゆっくり伺い、検査の上で認知症ではないこと、神経質にならず、自信を持って今までされていた台所仕事は注意しながら続けて構わないこと、むしろ使わないと使えなくなるということをお伝えし、薬は使わず生活を変えるご提案を行い、様子を見ることにしました。
その結果、診療が終了する頃には、元気になられ、ご自分の話や今後の話をされ、その様子を見てお嫁さんも「病気になる以前のお母さんです。」と安心され、帰られました。
後日、ご本人とお嫁さんから、お手紙を頂き、その後はとてもお元気になられ、今まで通り家事もされるようになり、普段通りの生活ができられているそうです。「医師のひと言」の責任の重さを痛感させられると共に、安堵した出来事でした。

今回のポイント

① 認知機能低下という状態は専門の医師でも様々な検査や診察を行わなければ原因などについてはわからないものです。紛らわしい病気もうつや甲状腺異常、意識障害など様々あります。その中でも取り巻く環境や自信喪失からくる不安やうつなどによって生じていることは珍しくありません。うつなどの病気や不安の原因を取り除くことで早く発見できれば認知機能が回復することもあります。早めにご相談ください。
② 年を重ね体が衰えていくということは、多きな不安につながる場合があります。不安を一人では乗り越えられない場合があるものです。そんなときほんの少し手を添えると、乗り越えられることも多いものです。病気や障害を抱えて不安になりながら過ごす人に“病だけでなく「こころ」にも手を添えられる”これからも私自身もそんな医師でありたいと思います。

講演会（地域包括支援センター清水・高平）

11月20日（木）に地域包括支援センター清水・高平主催で、津野田尚子先生の講演会が山室公民館で開催されました。高平校区の方が22名参加され、地域支援室からも2名参加いたしました。講演は認知症についてのスライドに加え、初期の発見ポイントのビデオ上映もありました。内容も解りやすく、参加者の方々からは好評を得ました。

ボランティアさん　≪平成20年11月～平成21年１月の活動紹介≫

＜手　　芸＞・佐藤幸恵様
＜音楽療育＞・小林真寿子様・立山真由美様
・学生（秋山・加藤）様
＜折り紙教室＞・三浦　順子様
＜書 道 教 室＞・大堂喜三子様
＜化 粧 療 法＞・ポーラ化粧品様
＜フラワーアレンジメント教室＞・金森　貞様
＜交　流　会＞・五丁保育園様
＜コ ー ラ ス＞・コールソレイユ様
＜歌 ・ 踊 り＞・月波　映二様　他４名様
・ダイヤモンド舞踊会
＜音　楽　会＞・学園大付属高校吹奏楽部様
・鳥濱運栄様（トランペット）
・峯　日出夫様（オカリナ）
・蓑毛とみこ様（ピアノ・歌）
＜学生ボランティア＞
・熊本保健科学大学（中井・山内・高野様）
＜その他＞・中島　洋子様・砂原　博子様
・倉橋　正義様・ひまわり会様
・太陽シルバーサービス様・九州東邦様

新しいお仲間です！

倉橋 正義 様

昨年10月までみつぐ苑で送迎の運転手として勤務していただいた倉橋さんが新たに加わりました。特技を生かしてそば作りボランティアをお願いしました。

紹 介 コ ー ナ ー

OPEN SPACE

今回は、「防災対策委員会」と「居宅介護支援事業所」をご紹介します。

防災対策予防委員会

防災対策委員会とは、年2回の防火避難訓練をはじめとした防災全般について検討する委員会です。
消防法に基づいた訓練と防火設備管理（消火器・消火栓・スプリンクラー・非常ベル等）、職員の防災全般に対する意識向上を目指し、勉強会なども開いています。
今年度は、新たに各フロアごとの避難訓練を行い計６回行われる予定です。万が一に備え職員全員が適切かつ迅速な対応がとれるように備えてまいります。自然災害（台風・地震・水害・雪）その他災害に対する対応マニュアルの見直したいと考えております。ご利用者の皆様に安全、安心を提供できる「みつぐ苑」でありたいと願っています。

居宅介護支援事業所

当事業所はみつぐ苑の中にあり、専従2名、兼務3名の5名体制で、要支援・要介護の方々のケアプラン（居宅・介護予防サービス計画）を作成しております。ご利用者が在宅で安心して自立した生活ができるよう、ご要望をお聞きし、サービス事業者への連絡や手配も行っております。
また、介護に関するご相談や介護保険の申請や更新手続きも行っております。初めての方でもお気軽にお問い合わせください。

お知らせ　～家族会についてのお知らせ～

昨年通所リハビリテーション・認知症対応型デイサービスではそれぞれ家族会を行ないました。お忙しい中ご参加頂きましてありがとうございました。
今年の４月には、３年に一度の介護報酬改定が予定されています。内容としては介護保険の全事業所が提供するサービスの報酬額（利用者は１割負担）が変わります。それに伴って４月からのご利用について、新たに契約の取り交わしが必要となります。そこで、改定についての説明会（家族会）を３月８日（日）に予定しています。詳細が決まりましたら、追ってご連絡いたします。

■関連事業所■
■通所リハビリテーションみつぐ苑　■グループホーム茜
■認知症対応型通所介護みつぐ苑　■みつぐまち診療所
■居宅介護支援事業所みつぐ苑
■訪問リハビリテーションみつぐ苑　■津野田内科医院

医療法人 医誠会
介護老人保健施設 みつぐ苑
〒861-5535 熊本市貢町135番地（鈴麦線 崇城大学から車で約３分）
☎０９６－３２３－６１２３